

印西市
地域コミュニティに関する
団体アンケート調査報告書

令和3年12月

印西市

目次

第1章 調査の概要

1 調査の目的.....	3
2 調査設計	
(1) 調査対象者.....	3
(2) 調査方法.....	3
(3) 調査期間.....	3
3 調査結果の概要	
(1) 回収結果.....	3
(2) 集計結果の要点.....	4
4 集計結果の見方.....	6

第2章 「町内会・自治会調査」の結果

団体のプロフィール.....	9
活動の内容.....	11
住民同士のつながり.....	13
地域の課題.....	15
新型コロナウイルス感染症.....	18
印西市における住民参加によるまちづくり.....	20
自由記入式質問.....	21

第3章 「市民活動団体調査」の結果

団体のプロフィール.....	27
活動の内容.....	29
新型コロナウイルス感染症.....	32
印西市における住民参加によるまちづくり.....	33
自由記入式質問.....	38



第1章 調査の概要

1 調査の目的

各種活動団体の地域とのつながり、活動に関する実態と意識、所謂新型コロナウイルス感染症に起因した活動への影響、今後の意向・希望等の把握を行うこと。

2 調査設計

(1) 調査対象

- ①町内会・自治会調査…市内の全町内会・自治会・行政区
- ②市内活動団体調査…印西市で活動しており、市の「市民活動支援センター」に利用登録のある活動団体

(2) 調査方法

- ①郵送配付一郵送回収法
- ②「市民活動支援センター」を通じてデジタル調査票を配付・原則的に市民活動支援センターへEメール添付にて返答。

(3) 調査期間

令和3年10月上旬～10月22日（金）

3 調査結果の概要

(1) 回収結果

調査区分	送付数	有効回収数	有効回収率
①町内会・自治会調査	192	140 票	72.9%
②市内活動団体調査	143	33 票	23.0%

(2) 集計結果の要点

※「集計結果の要点」は、主な質問項目を抽出して、町内会・自治会調査、市民活動団体調査の回答状況を適宜比較しながら回答の傾向を読み取ったものであり、選択肢を統合あるいは要約して記載している場合があります。また、回答の分布は小数点以下を四捨五入した割合(%)で示しています。

◆団体の概要

- 団体発足からの年数は、町内会・自治会では「21～40年」が33%、「20年以下」が23%、「51年以上」は22%となっており、ニュータウン開発に伴って団体数が増えてきたことが反映されています。一方、市民活動団体では「5～20年」が39%、「5年未満」が30%と、20年以下が約7割を占めています。
- 会員数は、町内会・自治会では「51～150世帯」が39%、「151世帯以上」が35%、「50世帯以下」は25%となっており、加入世帯は「ほぼ全世帯」が60%、「8～9割」が21%と、組織率の高さが示されています。一方、市民活動団体は、30人未満が70%を占めており、目的に沿った小規模な団体が多いことが分かります。
- なお、市民活動団体は、活動分野(複数回答)として「健康・福祉」「まちづくり」「環境」「歴史・文化」の順で多くあげられています。
- 会員の中心的な世代は、町内会・自治会では「60歳代」が49%、「70歳代」と「50歳代」が各26%、市民活動団体では「60歳代」と「70歳代」が各42%、「50歳代」が30%となっており、いずれも60～70歳代が中心的な世代になっていることが分かります。

◆地域活動・市民活動の活発度評価

- 活動が活発に行われているかどうか、項目ごとにたずねたところ、町内会・自治会では団体活動の中で「活発である」とする評価が最も多い分野は「環境保全・美化」であり、次いで「組織運営のための活動」も過半数が「活発である」としていますが、他は「活発でない」との評価が多くなっており、「学習の機会づくり」及び「子育て支援」は特に評価が低く、「青少年の育成」「高齢者福祉」「健康・スポーツ活動」なども「活発でない」が「活発である」との見方を大きく上回っています。
- 市民活動団体は、市民活動の状況について、「健康づくり」に次いで「防犯・交通安全対策」「(自然)環境の保全・地域美化」で“活発である”とする評価が多くなっていますが、「市民・住民同士の交流、地域への愛着形成」や「多様な人々との共生」「子どもや若者の育成支援」は“活発でない”とする見方が多く、「歴史的環境や伝統文化の継承」「防災・災害対策」も評価が低くなっています。「地域福祉活動」も、“活発でない”が“活発である”を上回っています。
- なお、新型コロナウイルス感染症まん延等の影響については、町内会・自治会の76%、市民活動団体の67%が「活動全体が縮小・停滞した」をあげるなど、活動の不活性化がみられましたが、市民活動団体では「活動の方法に工夫が生まれた」も36%があげています。流行が収まった後の活動見通しでは、町内会・自治会、市民活動団体とも6割近くが「できるだけ従前の活動どおりに元に戻したい」と答えており、これに次いで「これを機に、活動や組織運営のあり方を見直していきたい」も多くなっています。

◆地域での住民同士のつながりについて

- 市民活動団体に、地域での住民同士のつながりの大切さについて尋ねたところ、全団体が「大切だと思う」と答えました（「とても」76%、「ある程度」24%）。
- 町内会・自治会に、地域における近所づきあいや住民同士のつながりの程度をたずねたところ、「多いと思う」と答えたのは48%であり、市民活動団体に、市内での住民同士のつながりの評価を尋ねたところ、64%が不十分としています。地域の中の住民同士のつながりは、さらに強くしていく余地があると言えます。
- 町内会・自治会は、住民同士のつながりに有効と思われることとして、「回覧板や掲示板による情報共有」を64%があげ、次いで「伝統行事・祭り」「回覧板や集金などを介した相互訪問」「あいさつ運動」「気軽に集える場所づくり」の順で多くあげられました。

◆地域の課題とその解決状況について


- 町内会・自治会は、地域が直面している課題として「住民の減少や高齢化への対応」「高齢者の見守りや支援」「防災・災害対策」「環境保全・美化」「空き家や土地の荒廃」「防犯・交通安全対策」の順で多くあげています。地域活動の活発度評価と照らしてみると、地域福祉や防災等は、課題視されながら地域活動は必ずしも活発でない状況にあるということが出来ます。
- 町内会・自治会に、地域の課題の解決状況を尋ねたところ、61%が「進んでいない」と答えました。また、課題の解決における地域住民の参加状況を尋ねたところ、52%が「進んでいない」と答えました。
- 町内会・自治会は、住民参加による課題解決を進める上で頼りにしている先として、54%が「市役所」をあげ、次いで「町内会自治会連合会や近隣の地域組織」「自組織及び関連する地域組織等」「社会福祉協議会や民生委員・児童委員」の順で多くあげました。
- 市民活動団体は、地域が住民参加により地域課題を解決し、住みよいまちづくりを進める上で特に重要な位置づけにあると思う団体や機関として、「課題に対応する市民活動団体」「市民活動支援センター」「市役所」を各70%があげ、「町内会等の地域組織」については49%があげました。

◆地域で住民参加によるまちづくりを進めるために必要と思うこと


- 地域で住民参加によるまちづくりを進めるために必要なこととして、町内会・自治会、市民活動団体とも「住民の参加意識の向上」を最も多くあげ、これに「活動の担い手の負担軽減」と「市役所の助言や支援」が続いています。
- 市民アンケート調査でも「住民の理解と参加の促進」が1位にあげられ、これに「地域を取りまとめる組織づくり」「役員の負担軽減」が続いており、住民の意識づくりを基礎に、市民・住民を主体とする活動組織のあり方及び市役所の支援・協働について考えていくことの重要性が示されたといえます。

4 集計結果の見方

- ① 回答は、それぞれの質問の回答者数を基数とした百分率（%）で示しています。それぞれの質問の回答者数を「n」と表記しています。
- ② 「市民活動団体調査」については、nが33と100を大きく下回り百分率を用いての分析は統計学上正確でないことから、実数を用いて分析文を記述しています。ただし、表、及び上記3（2）記事中において、理解を助けるための参考の百分率を標示しています。
- ③ 回答割合（%）は、小数第2位を四捨五入し、小数第1位までを表記しています。したがって、回答の合計が必ずしも100%にならない場合（99.9%、100.1%など）があります。
- ④ 回答者が2つ以上回答することのできる質問（複数回答形式）については、%の合計は通常、100%を超えています。
- ⑤ 結果表の各欄で、上段の整数は回答実数（人）を、下段の小数第1位までの数値はその百分率（%）を、それぞれ表しています。
- ⑥ アンケート選択肢の語句が長い場合等、本文や表・グラフ中では省略した表現を用いていることがあります。



第2章 「町内会・自治会調査」の結果

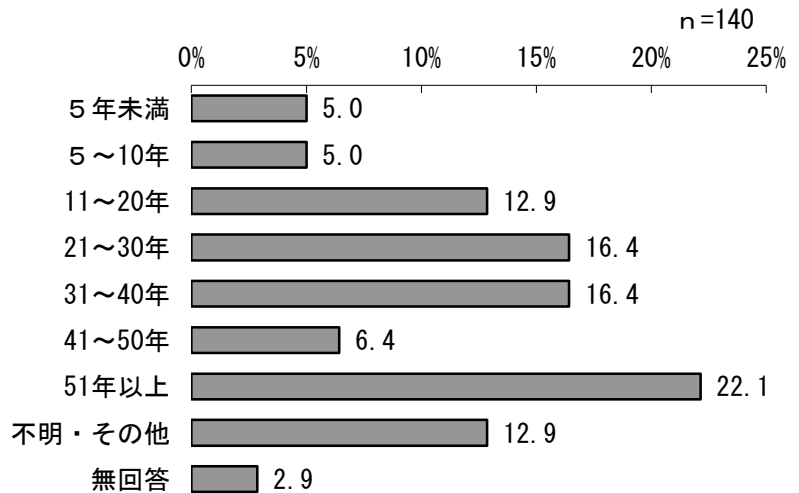


【団体のプロフィール】

問1 貴会についておたずねします。

①団体発足から、どのくらい経ちますか。(○は1つ)

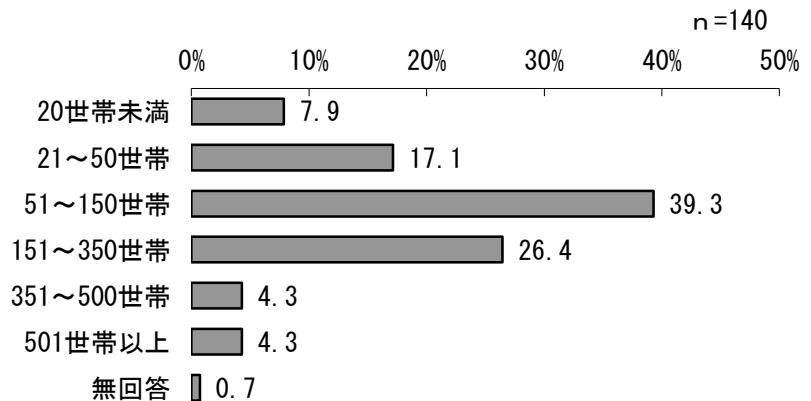
No	選択肢	n	%
1	5年未満	7	5.0
2	5～10年	7	5.0
3	11～20年	18	12.9
4	21～30年	23	16.4
5	31～40年	23	16.4
6	41～50年	9	6.4
7	51年以上	31	22.1
8	不明・その他	18	12.9
	無回答	4	2.9
	全体	140	100.0



○「51年以上」(22.1%)が最も多く、これに「21～30年」と「31～40年」(ともに16.4%)、「11～20年」(12.9%)が続いています。10年未満も1割みられます。

②現在の会員数を教えてください。(○は1つ)

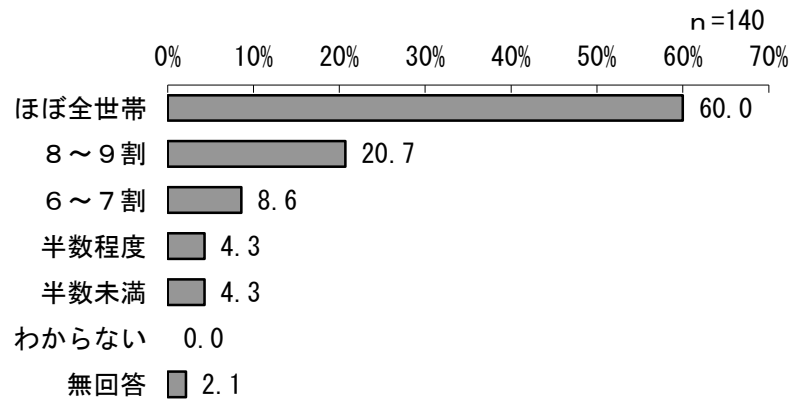
No	選択肢	n	%
1	20世帯未満	11	7.9
2	21～50世帯	24	17.1
3	51～150世帯	55	39.3
4	151～350世帯	37	26.4
5	351～500世帯	6	4.3
6	501世帯以上	6	4.3
	無回答	1	0.7
	全体	140	100.0



○「51～150世帯」(39.3%)が最も多く、「151～350世帯」(26.4%)、「21～50世帯」(17.1%)が続いています。350世帯以上は1割弱と少数です。

③加入世帯の割合は、どのくらいですか。(○は1つ)

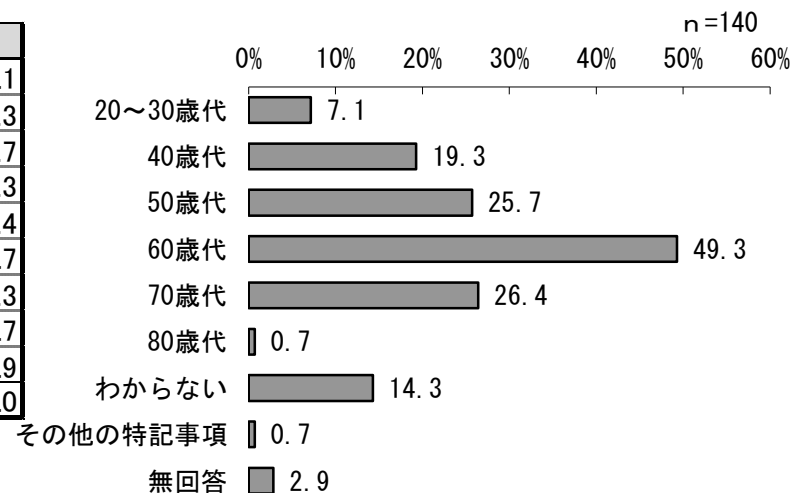
No	選択肢	n	%
1	ほぼ全世帯	84	60.0
2	8～9割	29	20.7
3	6～7割	12	8.6
4	半数程度	6	4.3
5	半数未満	6	4.3
6	わからない	0	0.0
	無回答	3	2.1
	全体	140	100.0



○「ほぼ全世帯」(60.0%) が6割を占め最も多く、次いで「8～9割」(20.7%) が多くなっています。「半数程度」と「半数未満」は4.3%ずつと少数です。

④会員(世帯主)の中心的な年代を教えてください。(○は2つまで)

No	選択肢	n	%
1	20～30歳代	10	7.1
2	40歳代	27	19.3
3	50歳代	36	25.7
4	60歳代	69	49.3
5	70歳代	37	26.4
6	80歳代	1	0.7
7	わからない	20	14.3
8	その他の特記事項	1	0.7
	無回答	4	2.9
	全体	140	100.0



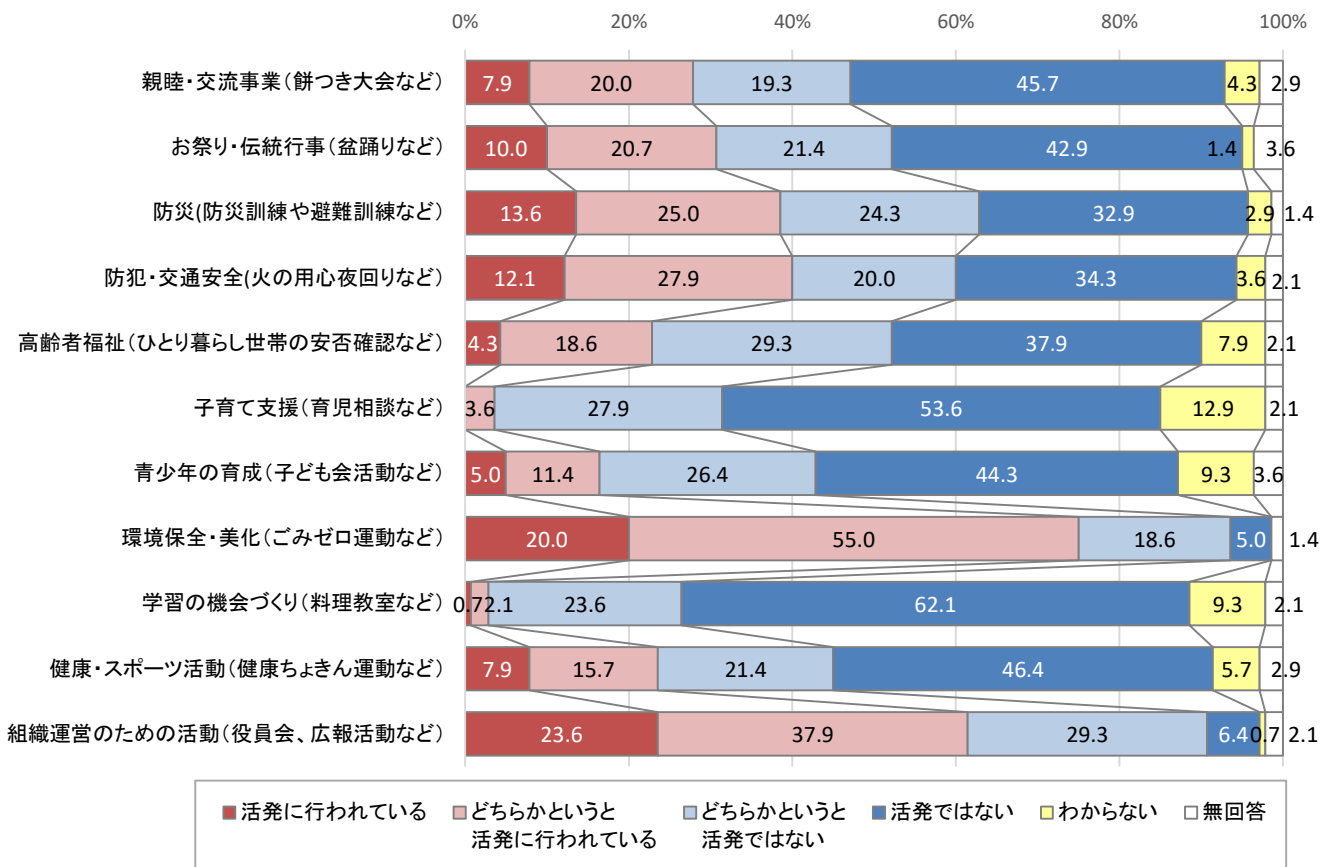
○「60歳代」(49.3%) が最も多く、続いて「70歳代」(26.4%) と「50歳代」(25.7%) が多くなっています。

【活動の内容】

問2 貴会の活動状況について、①～⑪の項目ごとにお答えください。(〇は1つずつ)

単位・・・上段：件、下段：%

	計	活発に行われている	どちらかという 活発に行われている	どちらかという 活発ではない	活発ではない	わからない	無回答
①親睦・交流事業 (餅つき大会など)	140	11	28	27	64	6	4
	100.0	7.9	20.0	19.3	45.7	4.3	2.9
②お祭り・伝統行事 (盆踊りなど)	140	14	29	30	60	2	5
	100.0	10.0	20.7	21.4	42.9	1.4	3.6
③防災 (防災訓練や避難訓練など)	140	19	35	34	46	4	2
	100.0	13.6	25.0	24.3	32.9	2.9	1.4
④防犯・交通安全 (火の用心夜回りなど)	140	17	39	28	48	5	3
	100.0	12.1	27.9	20.0	34.3	3.6	2.1
⑤高齢者福祉 (ひとり暮らし世帯の安否確認など)	140	6	26	41	53	11	3
	100.0	4.3	18.6	29.3	37.9	7.9	2.1
⑥子育て支援 (育児相談など)	140	0	5	39	75	18	3
	100.0	0.0	3.6	27.9	53.6	12.9	2.1
⑦青少年の育成 (子ども会活動など)	140	7	16	37	62	13	5
	100.0	5.0	11.4	26.4	44.3	9.3	3.6
⑧環境保全・美化 (ごみゼロ運動など)	140	28	77	26	7	0	2
	100.0	20.0	55.0	18.6	5.0	0.0	1.4
⑨学習の機会づくり (料理教室など)	140	1	3	33	87	13	3
	100.0	0.7	2.1	23.6	62.1	9.3	2.1
⑩健康・スポーツ活動 (健康ちょきん運動など)	140	11	22	30	65	8	4
	100.0	7.9	15.7	21.4	46.4	5.7	2.9
⑪組織運営のための活動 (役員会、広報活動など)	140	33	53	41	9	1	3
	100.0	23.6	37.9	29.3	6.4	0.7	2.1



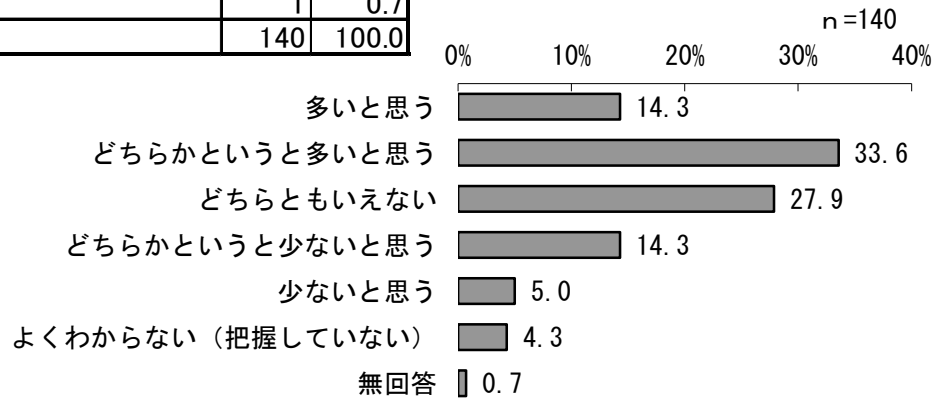
○団体活動の中で、“活発である（「活発に行われている」、「どちらかというと活発に行われている」）”との評価が最も多い分野は「環境保全・美化」であり、次いで「組織運営のための活動」も過半数が“活発である”としていますが、他は“活発でない（「活発ではない」、「どちらかというと活発ではない」）”との評価が多くなっており、特に「学習の機会づくり」及び「子育て支援」は、“活発である”とする評価は極めて限られています。「青少年の育成」「健康・スポーツ活動」「高齢者福祉」も“活発でない”との評価が“活発である”とする評価を大きく上回っています。

【住民同士のつながり】

問3 貴地域における、住民同士のつながりについておたずねします。

①貴地域では、近所づきあいや地域住民同士のつながりを大切にしている人が多いと思いますか。(〇は1つ)

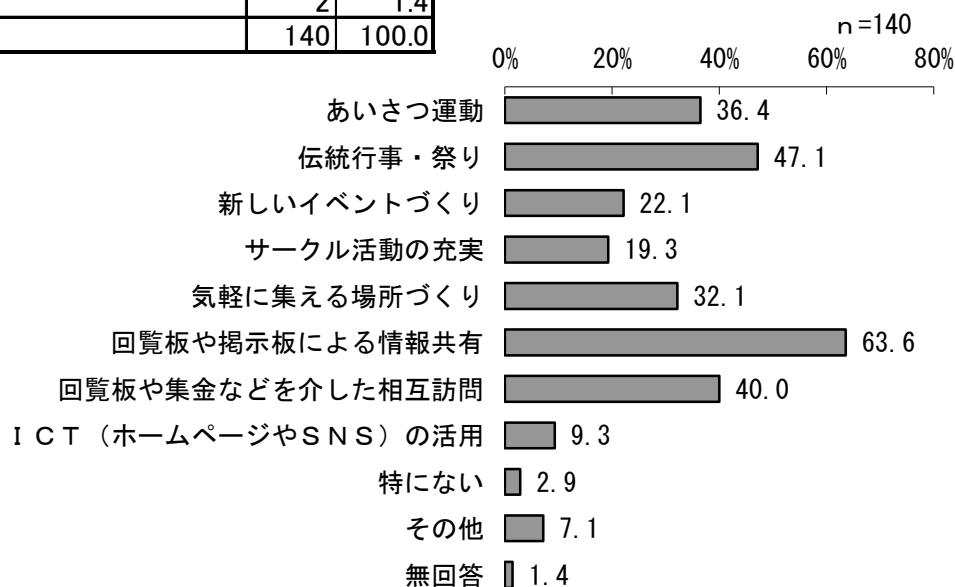
No	選択肢	n	%
1	多いと思う	20	14.3
2	どちらかという人多いと思う	47	33.6
3	どちらともいえない	39	27.9
4	どちらかという人少ないと思う	20	14.3
5	少ないと思う	7	5.0
6	よくわからない(把握していない)	6	4.3
	無回答	1	0.7
	全体	140	100.0



○「どちらかという人多いと思う」(33.6%)が最も多く、次いで「どちらともいえない」(27.9%)が多くなっています。「どちらかという人」を含む“多いと思う”は合わせて47.9%、「どちらかという人」を含む“少ないと思う”は合わせて19.3%です。

②貴会の活動で、住民同士のつながりに有効と思われるのは、どんなことですか。
 (あてはまるすべてに○)

No	選択肢	n	%
1	あいさつ運動	51	36.4
2	伝統行事・祭り	66	47.1
3	新しいイベントづくり	31	22.1
4	サークル活動の充実	27	19.3
5	気軽に集える場所づくり	45	32.1
6	回覧板や掲示板による情報共有	89	63.6
7	回覧板や集金などを介した相互訪問	56	40.0
8	ICT(ホームページやSNS)の活用	13	9.3
9	特にない	4	2.9
10	その他	10	7.1
	無回答	2	1.4
	全体	140	100.0



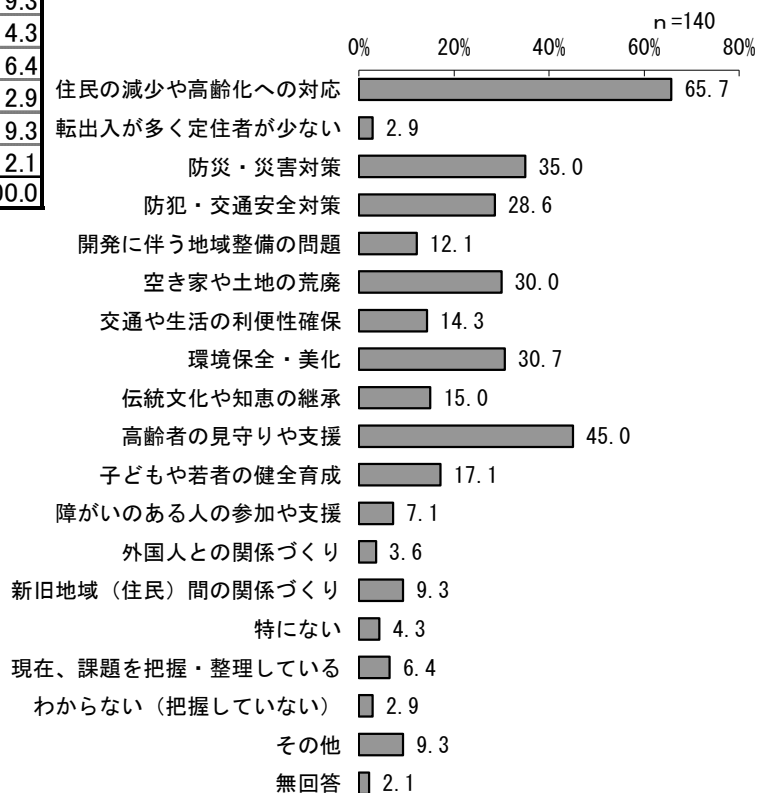
○「回覧板や掲示板による情報共有」(63.6%)という回答が6割を超えて最も多く、続いて「伝統行事・祭り」(47.1%)、「回覧板や集金などを介した相互訪問」(40.0%)、「あいさつ運動」(36.4%)、「気軽に集える場所づくり」(32.1%)の順に多くなっています。

【地域の課題】

問4 貴地域の課題についておたずねします。

①貴地域が直面している課題は、主にどんなことですか。(あてはまるすべてに○)

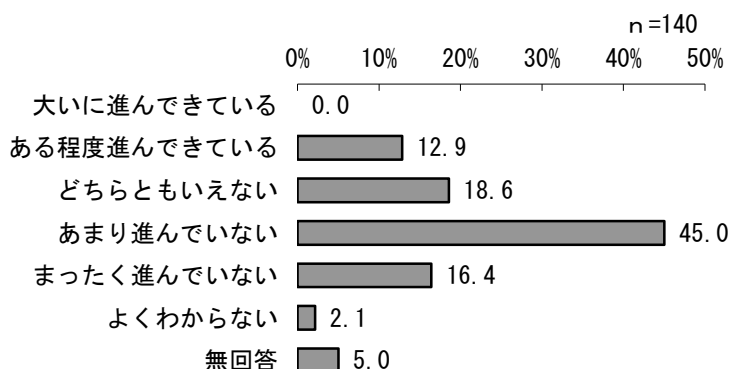
No	選択肢	n	%
1	住民の減少や高齢化への対応	92	65.7
2	転出入が多く定住者が少ない	4	2.9
3	防災・災害対策	49	35.0
4	防犯・交通安全対策	40	28.6
5	開発に伴う地域整備の問題	17	12.1
6	空き家や土地の荒廃	42	30.0
7	交通や生活の利便性確保	20	14.3
8	環境保全・美化	43	30.7
9	伝統文化や知恵の継承	21	15.0
10	高齢者の見守りや支援	63	45.0
11	子どもや若者の健全育成	24	17.1
12	障がいのある人の参加や支援	10	7.1
13	外国人との関係づくり	5	3.6
14	新旧地域(住民)間の関係づくり	13	9.3
15	特にない	6	4.3
16	現在、課題を把握・整理している	9	6.4
17	わからない(把握していない)	4	2.9
18	その他	13	9.3
	無回答	3	2.1
	全体	140	100.0



○「住民の減少や高齢化への対応」(65.7%)が6割台半ばで最も多く、次いで「高齢者の見守りや支援」(45.0%)が多く、「防災・災害対策」(35.0%)、「環境保全・美化」(30.7%)、「空き家や土地の荒廃」(30.0%)、「防犯・交通安全対策」(28.6%)などが続いています。

②課題の解決は、進んでいると思いますか。(○は1つ)

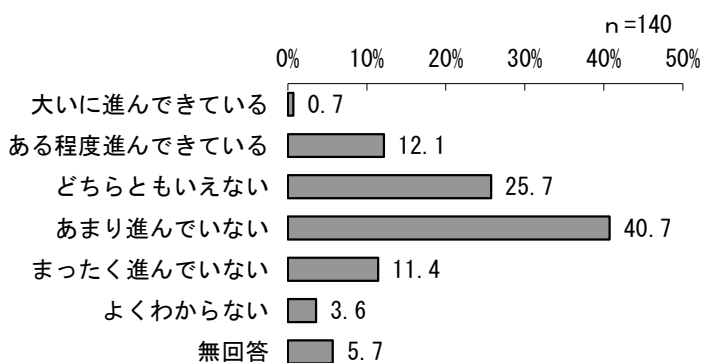
No	選択肢	n	%
1	大いに進んでいる	0	0.0
2	ある程度進んでいる	18	12.9
3	どちらともいえない	26	18.6
4	あまり進んでいない	63	45.0
5	まったく進んでいない	23	16.4
6	よくわからない	3	2.1
	無回答	7	5.0
	全体	140	100.0



○「あまり進んでいない」(45.0%)が最も多く、3番目に多い「まったく進んでいない」(16.4%)を含む“進んでいない”は61.4%です。次いで多いのは「どちらともいえない」(18.6%)で、「ある程度進んでいる」は12.9%です。「大いに進んでいる」と答えた人はいませんでした。

③課題の解決において、地域住民の参加は進んでいると思いますか。(○は1つ)

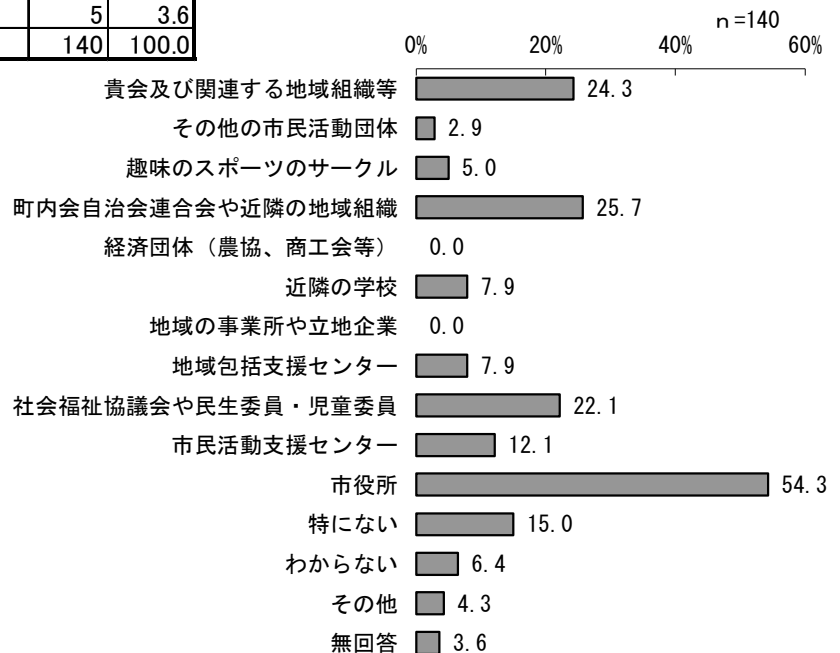
No	選択肢	n	%
1	大いに進んでいる	1	0.7
2	ある程度進んでいる	17	12.1
3	どちらともいえない	36	25.7
4	あまり進んでいない	57	40.7
5	まったく進んでいない	16	11.4
6	よくわからない	5	3.6
	無回答	8	5.7
	全体	140	100.0



○「あまり進んでいない」(40.7%)が最も多く、「まったく進んでいない」(11.4%)を加えると“進んでいない”という回答は52.1%と過半数に達しています。次に多いのは「どちらともいえない」(25.7%)で、「ある程度進んでいる」(12.1%)と「大いに進んでいる」(0.7%)を合わせても1割台前半です。

④住民参加による課題解決を進める上で、現在、貴会が特に頼りにしている団体や機関は何ですか。(あてはまるすべてに○)

No	選択肢	n	%
1	貴会及び関連する地域組織等	34	24.3
2	その他の市民活動団体	4	2.9
3	趣味のスポーツのサークル	7	5.0
4	町内会自治会連合会や近隣の地域組織	36	25.7
5	経済団体(農協、商工会等)	0	0.0
6	近隣の学校	11	7.9
7	地域の事業所や立地企業	0	0.0
8	地域包括支援センター	11	7.9
9	社会福祉協議会や民生委員・児童委員	31	22.1
10	市民活動支援センター	17	12.1
11	市役所	76	54.3
12	特にない	21	15.0
13	わからない	9	6.4
14	その他	6	4.3
	無回答	5	3.6
	全体	140	100.0



○「市役所」(54.3%)という回答が過半数に達して最も多く、次いで「町内会自治会連合会や近隣の地域組織」(25.7%)が多くなっています。続いて「貴会及び関連する地域組織等」(24.3%)、「社会福祉協議会や民生委員・児童委員」(22.1%)が比較的多くなっています。「経済団体(農協、商工会等)」や「地域の事業所や立地企業」はあげられませんでした。

⑤今後連携していきたい・連携を強めたいと思う団体や機関があれば教えてください。

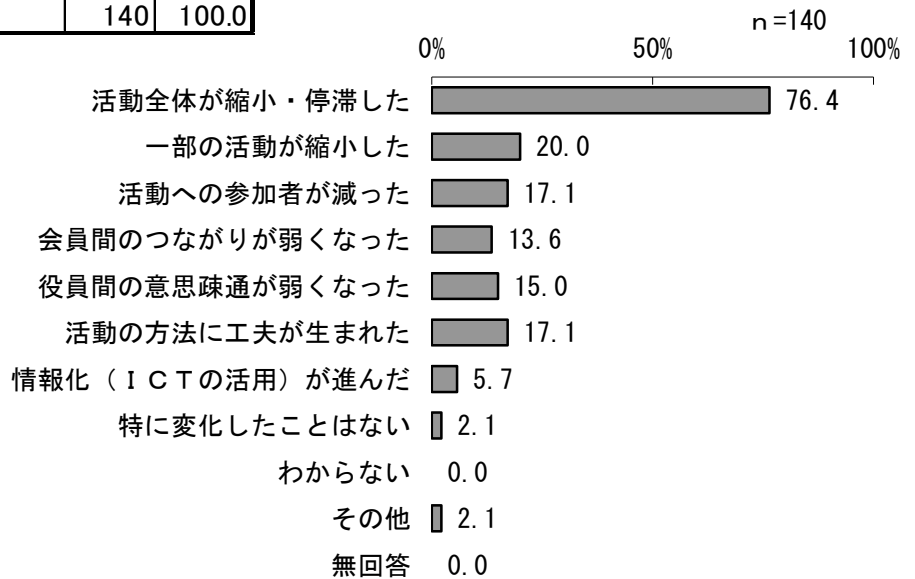
○「他の町内会・自治会」「連合会」をあげる回答が多くありました。その他、「市役所」「警察」「消防」「社会福祉協議会」なども複数の回答がありました。

【新型コロナウイルス感染症】

問5 新型コロナウイルス感染症まん延等の影響についておたずねします。

①貴会の活動には、どんな変化がありましたか。(あてはまるすべてに○)

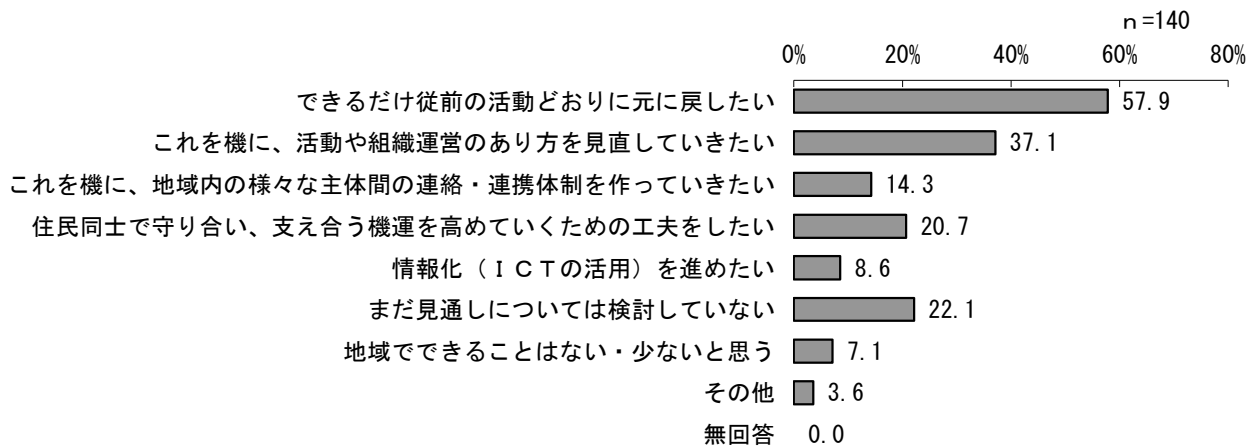
No	選択肢	n	%
1	活動全体が縮小・停滞した	107	76.4
2	一部の活動が縮小した	28	20.0
3	活動への参加者が減った	24	17.1
4	会員間のつながりが弱くなった	19	13.6
5	役員間の意思疎通が弱くなった	21	15.0
6	活動の方法に工夫が生まれた	24	17.1
7	情報化(ICTの活用)が進んだ	8	5.7
8	特に変化したことはない	3	2.1
9	わからない	0	0.0
10	その他	3	2.1
	無回答	0	0.0
	全体	140	100.0



○「活動全体が縮小・停滞した」(76.4%)という回答が7割台後半で最も多く、「一部の活動が縮小した」(20.0%)を加えると96.4%で“活動が縮小した”としています。それ以外でも「活動への参加者が減った」(17.1%)など縮小および疎遠化の方向の回答が多い中で、「活動の方法に工夫が生まれた」(17.1%)も比較的多くみられます。「特に変化したことはない」は2.1%でした。

②流行・まん延等が収まった後の活動見通しはいかがですか。(あてはまるすべてに○)

No	選択肢	n	%
1	できるだけ従前の活動どおりに元に戻したい	81	57.9
2	これを機に、活動や組織運営のあり方を見直していきたい	52	37.1
3	これを機に、地域内の様々な主体間の連絡・連携体制を作していきたい	20	14.3
4	住民同士で守り合い、支え合う機運を高めていくための工夫をしたい	29	20.7
5	情報化(ICTの活用)を進めたい	12	8.6
6	まだ見通しについては検討していない	31	22.1
7	地域でできることはない・少ないと思う	10	7.1
8	その他	5	3.6
	無回答	0	0.0
	全体	140	100.0

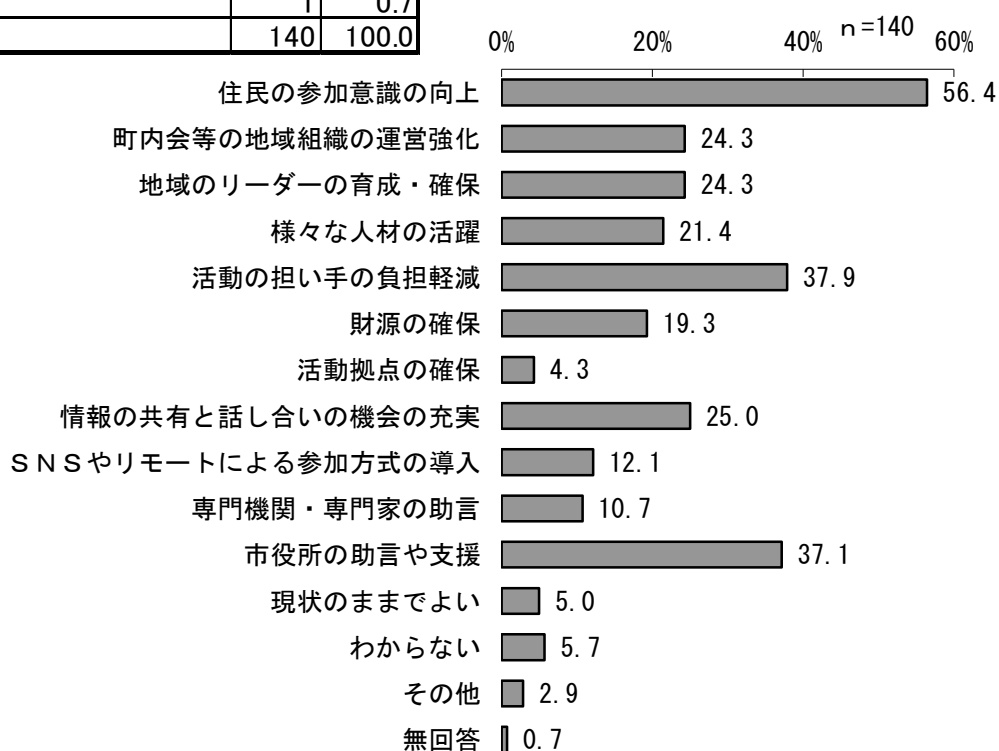


○「できるだけ従前の活動どおりに元に戻したい」(57.9%)という回答が過半数に達して最も多く、次いで「これを機に、活動や組織運営のあり方を見直していきたい」(37.1%)が多く、「まだ見通しについては検討していない」(22.1%)、「住民同士で守り合い、支え合う機運を高めていく工夫をしたい」(20.7%)が続いています。

【印西市における住民参加によるまちづくり】

問6 貴地域で、住民参加によるまちづくりを進めていくためには、特にどのようなことが必要と思いますか。(あてはまるすべてに○)

No	選択肢	n	%
1	住民の参加意識の向上	79	56.4
2	町内会等の地域組織の運営強化	34	24.3
3	地域のリーダーの育成・確保	34	24.3
4	様々な人材の活躍	30	21.4
5	活動の担い手の負担軽減	53	37.9
6	財源の確保	27	19.3
7	活動拠点の確保	6	4.3
8	情報の共有と話し合いの機会の充実	35	25.0
9	SNSやリモートによる参加方式の導入	17	12.1
10	専門機関・専門家の助言	15	10.7
11	市役所の助言や支援	52	37.1
12	現状のままでよい	7	5.0
13	わからない	8	5.7
14	その他	4	2.9
	無回答	1	0.7
	全体	140	100.0



○「住民の参加意識の向上」(56.4%)という回答が過半数に達して最も多く、これに「活動の担い手の負担軽減」(37.9%)、「市役所の助言や支援」(37.1%)、「情報の共有と話し合いの機会の充実」(25.0%)等が続いています。

【自由記入式質問】

問7 印西市における地域コミュニティの活性化に向けて、日ごろお感じのことや、今後に向けてのご提案などをお聞かせください。

○140団体中52団体（37.1%）から回答を得ました。以下に、地域コミュニティ及び地域活動に関わる記述を抜粋・要約して掲載します。

①地域コミュニティについて

<新しい都市の中で>

- ・4年前に18棟で発足した。世帯主が若く活動に興味がなく、役員もくじで決めている。もっと近所の交流をもち、興味をもってもらえるようコロナ禍が終わったら活動したい。
- ・路上で子どもに声をかけた際に怯えてしまった。接し方が難しいと感じた。
- ・都市部の地域帰属意識は低い。子どもや高齢者にターゲットを絞らないとコミュニティへの参加は難しいと思う。
- ・地域コミュニティの活性化は市の都市部以外は難しい。これも時代の流れ。
- ・印西市は現在も人口増加傾向で新住民も増加中である。当自治会でもさらなる住民の交流における相互理解が必要。自治会を通じて地道な活動を継続することが大事。

<高齢化について>

- ・毎年高齢化率が高くなり、活動が鈍化している。活性化が望めない。
- ・自治会の会員自体の高齢化が進み、それにつれて自治会本来の運営が難しくなっている。年々脱会する世帯が増加している。自治会の脱会を防ぐための手だてが必要。
- ・居住時より40年から50年を経過して固定化の傾向もあり、今後高齢化による活動の困難を感じる。住民の参加に限度があり新しい活動の形態や意識を工夫せざるを得ないと思う。
- ・役員から住民の高齢化にあった活動にすべきとの意見が出た。
- ・古い団地では住民の高齢化により空き室の増加や独居老人の問題も顕著になってきた。具体的な見守り支援対策など教示して頂きたい。

<コミュニティへの参加について>

- ・若い人の地域コミュニティの参加を推進する。
- ・集会所は難しくてもデイキャンプができるような公園が近くにあるとありがたい。集まって話す機会を増やしたい。
- ・コロナ禍で活動が縮小しているが、フレンドリープラザでの諸企画は地域の活性化に貢献していると思う。元気で発想力豊かな自由人（都内勤務のサラリーマンは厳しいが）が活躍できる場があるとよい。

<コロナ禍を経て>

- ・コロナ禍により地域住民間のコミュニケーションも減り、明るい材料が見当たらない。その中で、活路を見だし、新しい地域活動を探し出す必要がある。
- ・コロナ禍においては、どのような活動ができるのか模索中。イベントをやろうという人もいれば、やはり安全第一という方もいて、指針が見出せない。

②地域活動のあり方について

<情報の共有について>

- ・コロナで町全体が萎縮している。こういう時代だからこそ町民間で助け合いの気持ちを持つことが大切。それには町民が必要な情報を迅速に流す必要がある。
- ・高齢化により新しい行事が見通せない。他の地域の活動内容が情報として入ってこない。一年間の通常の行事を消化するだけで終わってしまっている。
- ・地域全体の情報が入ってこない。活動の担い手の負担が大きい割にメリットがない。それも一因として加入者の減少になっている。市として何かできないか。

<防災・防犯について>

- ・(市から)避難行動要支援者の支援対策組織づくりの要請があるが、非常に難しい課題である。
- ・地域から危険箇所の通報要請を市に連絡をしても担当者が忙しいのか対応が遅く、災害発生時を危惧する。早めに対応をお願いしたい。
- ・防災訓練が土日になり学校と連携できなくなった。災害は平日に起こる確率が高いのでは。
- ・救急キットの周知、利用の案内をもっと積極的に行い、必要な方に普及していけるとよい。
- ・会員の高齢化が進んで体力的に無理のある活動は困難となっており、負担にならない活動を進める方法しか選択できない。最終的には個人(の意思)であり、避難活動においても全体が同じような行動をとることは難しいと思う。見極めが重要。
- ・市役所、消防、警察と連携を深めて、もっとより良い地域づくりができたらと思う。

<環境について>

- ・町内会の退会者が増えてきている。ゴミ集積所を中心とした管理、運用の効率的かつ丁寧な運営(が必要)。
- ・ゴミ置き場の整理、資源物やゴミの分別、出し方等クリーンパートナーの協力によって行っているが、問題が多く、町内会会員以外の方が多いため問題である。
- ・環境美化等の活性化。生活に直結した排水路等が整備されれば、地域のコミュニティもはかれる。長期にいたる要望書の実現を切に希望する。

③地域組織の運営について

- ・自治会活動のスリム化と図りたいと考える。高齢化が進んでおり、自治会活動そのものの存続に不安を感じる。行政側には既存地域の活性化を図るために、宅地の新規開発の抑制を検討願いたい。空き家の有効活用、ひいては地域コミュニティの活性化へ繋がると考える。
- ・後継者の育成が問題。そのうちに担い手がなくなる可能性がある。
- ・町内理事会の任期に悩み有り。1年全員交代を見直す方向性を示しては如何と。
- ・町内会の最大の問題は、続かないこと。労が多く、見返りが少ない。そのため会員が毎年入れ替わりその度に一からやり直し。先を見越した運営ができない。そしてその解決等がない。
- ・本町内会の自治会長任期は1年で、志があっても継続的に活動ができる体制ではない。まして自ら望んで会長になった方は少なく意識が低い。会長とは別に常任役員(3年から5年任期)を設けるなどの対策が必要。そのリーダー的な人材を市が育てる必要がある。
- ・順番で役員になりたまたま会長となった。居住年数が少なく地域コミュニティの活性化等を考えたことはない、地域リーダーとなる方がいないと自治会等の先行きは暗いと思う。
- ・今が自治会を見直す良い機会だと思う。提案として、PDCA サイクル機能の導入実施。

④市役所への期待

＜地域組織との関係について＞

- ・市役所の積極的な関与を求めたい。町内会・自治会組織のあり方は、今の時代に合っていないように感じている。自治会脱会者、未加入者は自治会に加入するメリットがないと言う。
- ・市行政からのアドバイス、先進事例から学ぶなどの機会を増やして欲しい。
- ・高齢化地区対策の情報提供を。
- ・市村合併後コミュニティ活性化に関する支援が極端に少なくなってしまった。
- ・市役所の対応が非常に悪い。町会に全て丸投げで市役所は何もしていない。

＜情報共有を円滑にするために＞

- ・回覧板制度を見直したい。団地地域であり各階段に設置された掲示板に掲示すれば十分。行政からの連絡も回覧板で回すか掲示するかを地域ごとに選べるとよい。
- ・コミュニティ内部及び近隣の町内会、自治会の会合をオンラインで行える zoomID を市から提供してもらえるととても助かる。
- ・ICT 活用のためのインフラ整備について市の協力をあおぎたい。従来の回覧板、掲示板を前提とした情報共有方法は現代の生活に適していないが、インフラを整える費用を自治会で負担するには高額すぎる。

＜情報発信の強化を＞

- ・行政の事業については、広報、回覧板、行政無線で伝えて済んだと思わず、プランがあるなら結果を出せる仕事をしてほしい。もう一步、仕事に目を向けてほしい。
- ・印西市の発信力向上を求める。感染症情報にも遅れがある。住民の間でも印西市内地域格差を感じるとの意見あり。街の道路表示、雑草の除草など。



第3章 「市民活動団体調査」の結果

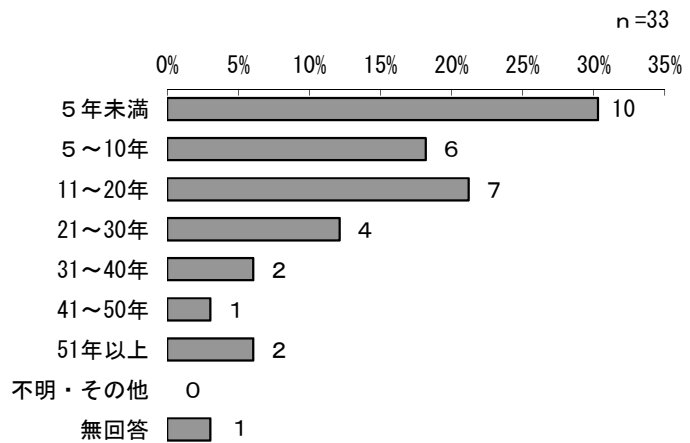


【団体のプロフィール】

問1 貴団体についておたずねします。

①団体発足から、どのくらい経ちますか。(1つ選択)

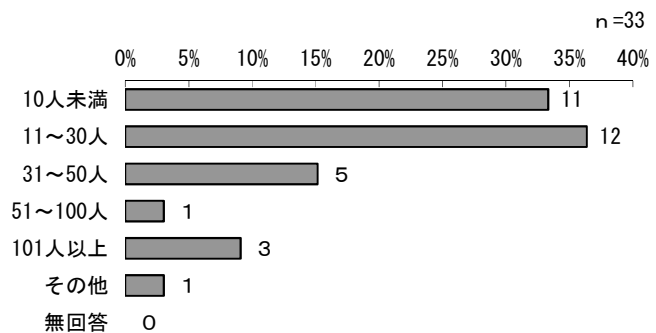
No.	選択肢	n	%(参考)
1	5年未満	10	30.3
2	5～10年	6	18.2
3	11～20年	7	21.2
4	21～30年	4	12.1
5	31～40年	2	6.1
6	41～50年	1	3.0
7	51年以上	2	6.1
8	不明・その他	0	0.0
	無回答	1	3.0
	全体	33	100.0



○「5年未満」(33団体中10団体)という回答が最も多く、「11～20年」(同7団体)、「5～10年」(6団体)が続いています。過半数が発足後20年までの団体となっています。

②現在の登録会員数を教えてください。(1つ選択)

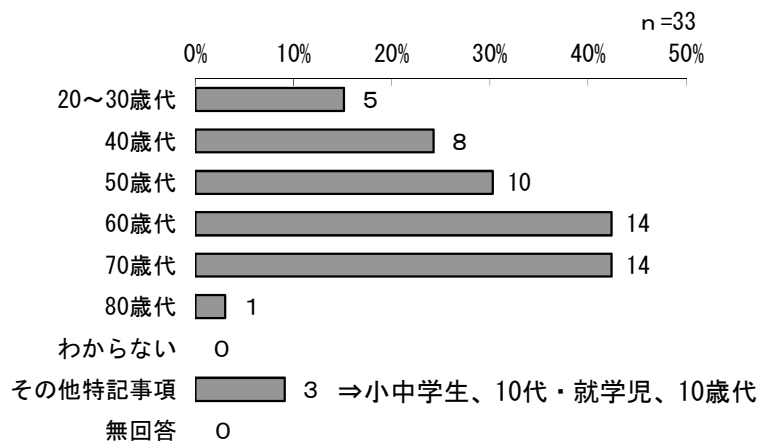
No.	選択肢	n	%(参考)
1	10人未満	11	33.3
2	11～30人	12	36.4
3	31～50人	5	15.2
4	51～100人	1	3.0
5	101人以上	3	9.1
6	その他	1	3.0
	無回答	0	0.0
	全体	33	100.0



○「11～30人」(33団体中12団体)、「10人未満」(同11団体)という回答が多くなっています。30人までの団体が、ほぼ7割を占めています。

③会員の中心的な年代を教えてください。(2つまで選択)

No.	選択肢	n	% (参考)
1	20～30歳代	5	15.2
2	40歳代	8	24.2
3	50歳代	10	30.3
4	60歳代	14	42.4
5	70歳代	14	42.4
6	80歳代	1	3.0
7	わからない	0	0.0
8	その他特記事項	3	9.1
	無回答	0	0.0
	全体	33	100.0



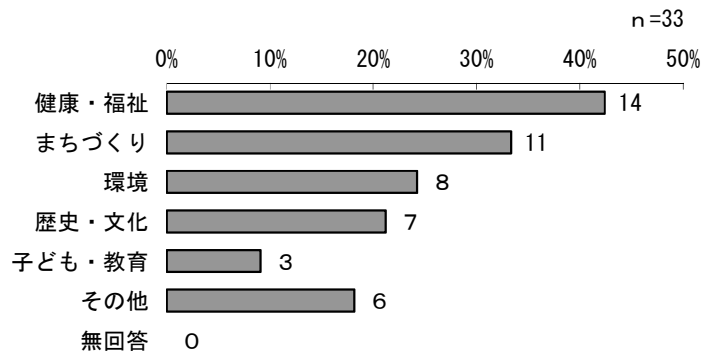
○「60歳代」と「70歳代」(ともに33団体中14団体)という回答が多くなっています。メンバーの高齢化が進んでいることがうかがえます。

【活動の内容】

問2 貴団体の活動についておたずねします。

①主な活動分野を教えてください。(2つまで選択)

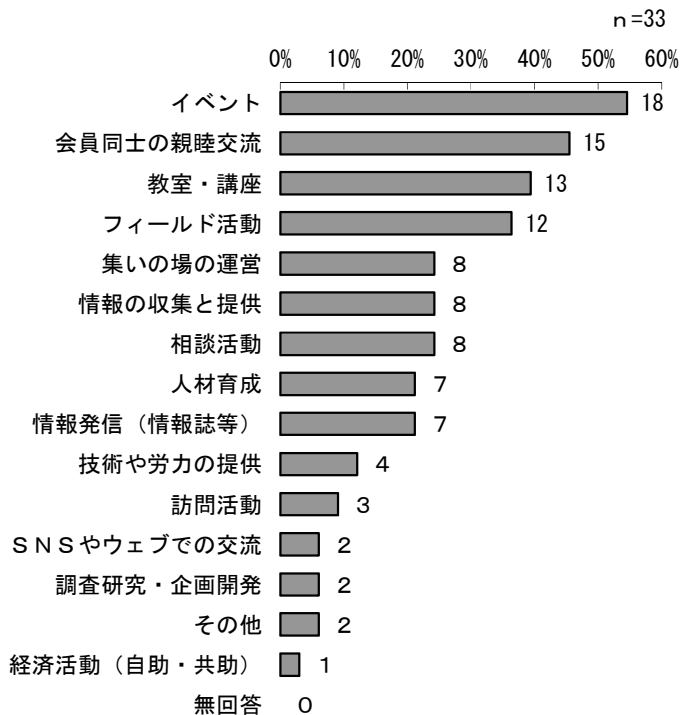
No.	選択肢	n	%(参考)
1	健康・福祉	14	42.4
2	歴史・文化	7	21.2
3	子ども・教育	3	9.1
4	環境	8	24.2
5	まちづくり	11	33.3
6	その他	6	18.2
	無回答	0	0.0
	全体	33	100.0



○「健康・福祉」(33団体中14団体)という回答が最も多く、次いで「まちづくり」(同11団体)が多くなっています。

②貴団体が重視している事業・活動は何ですか。(あてはまるすべてを選択)

No.	選択肢	n	%(参考)
1	イベント	18	54.5
2	教室・講座	13	39.4
3	集いの場の運営	8	24.2
4	フィールド活動	12	36.4
5	訪問活動	3	9.1
6	技術や労力の提供	4	12.1
7	情報の収集と提供	8	24.2
8	相談活動	8	24.2
9	人材育成	7	21.2
10	会員同士の親睦交流	15	45.5
11	経済活動(自助・共助)	1	3.0
12	情報発信(情報誌等)	7	21.2
13	SNSやウェブでの交流	2	6.1
14	調査研究・企画開発	2	6.1
15	その他	2	6.1
	無回答	0	0.0
	全体	33	100.0

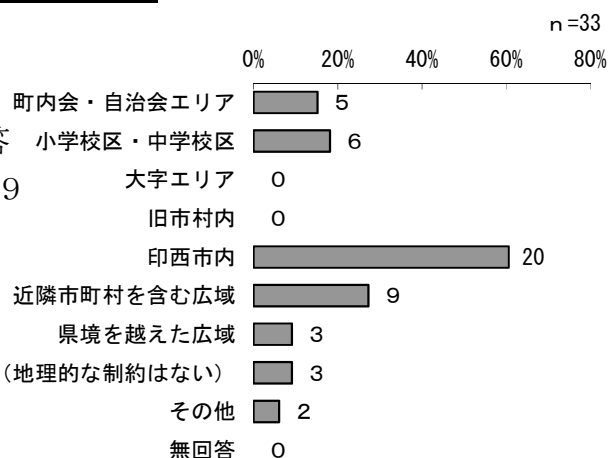


○「イベント」(33団体中18団体)という回答が最も多く、次いで「会員同士の親睦交流」(同15団体)、「教室・講座」(13団体)、「フィールド活動」(12団体)が続いています。

③主な活動エリアを教えてください。(2つまで選択)

No.	選択肢	n	%(参考)
1	町内会・自治会エリア	5	15.2
2	小学校区・中学校区	6	18.2
3	大字エリア	0	0.0
4	旧市村内	0	0.0
5	印西市内	20	60.6
6	近隣市町村を含む広域	9	27.3
7	県境を越えた広域	3	9.1
8	場所を特定しない(地理的な制約はない)	3	9.1
9	その他	2	6.1
	無回答	0	0.0
	全体	33	100.0

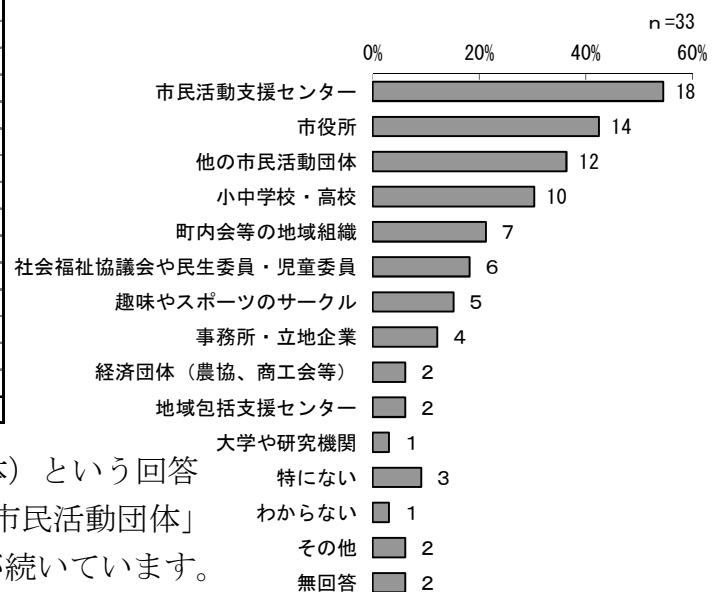
○「印西市内」(33団体中20団体)という回答が最も多く、「近隣市町村を含む広域」(同9団体)、「小学校区・中学校区」(6団体)、「町内会・自治会エリア」(5団体)等が続いています。
「旧市村内」という回答はみられません。



④市内でつながりの深い市内の団体や機関はありますか。(5つまで選択)

No.	選択肢	n	%(参考)
1	他の市民活動団体	12	36.4
2	町内会等の地域組織	7	21.2
3	趣味やスポーツのサークル	5	15.2
4	経済団体(農協、商工会等)	2	6.1
5	小中学校・高校	10	30.3
6	大学や研究機関	1	3.0
7	事務所・立地企業	4	12.1
8	地域包括支援センター	2	6.1
9	社会福祉協議会や民生委員・児童委員	6	18.2
10	市民活動支援センター	18	54.5
11	市役所	14	42.4
12	特にない	3	9.1
13	わからない	1	3.0
14	その他	2	6.1
	無回答	2	6.1
	全体	33	100.0

○「市民活動支援センター」(33団体中18団体)という回答が最も多く、「市役所」(同14団体)、「他の市民活動団体」(12団体)、「小中学校・高校」(10団体)が続いています。



⑤市内で今後連携していきたい・連携を強めたいと思う団体や機関があれば、教えてください。(自由記入方式)

○33団体中14団体から、下記のような回答がありました。(順不同 ※明らかな誤字等を修正したほかは、ご記入内容の全文をそのまま掲載しています。)

- ・同様の活動をしている団体
- ・地域団体との連携交流
- ・市内各地域の自治会・町内会・管理組合
- ・他の自治会、町内会
- ・社会福祉協議会、地域包括支援センター
- ・民生委員、人権擁護委員会等
- ・健康増進を目的とする組織・団体
- ・ウォーキングを中心にした団体、ミニコミ・マスコミなど
- ・教育委員会、子育て支援活動団体、保育園、幼稚園、学校関係
- ・子育て、歴史、健康、まちづくり、スポーツ、福祉
- ・特に小中学校、教育委員会、SSW
- ・子育て、歴史、健康、まちづくり
- ・子育てや他世代交流の団体
- ・行政と議会を語る会

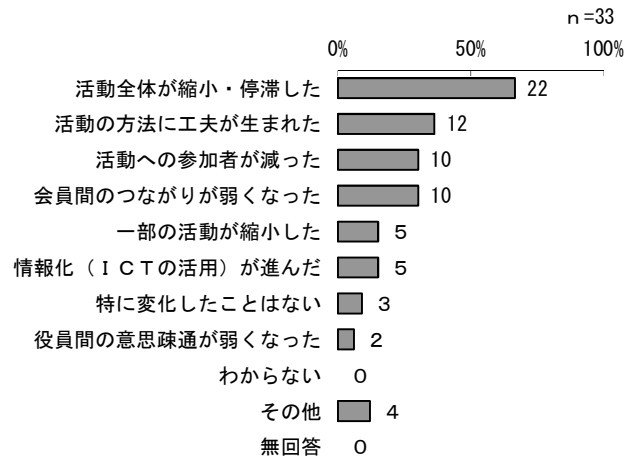
⇒同様の市民活動団体、町内会等の“地縁型”、“テーマ型”団体の他、健康づくり等のための団体や子育て支援・教育関連の団体等が答えられています。

【新型コロナウイルス感染症】

問3 新型コロナウイルス感染症まん延等の影響についておたずねします。

①貴団体の活動には、どんな変化がありましたか。(あてはまるすべてを選択)

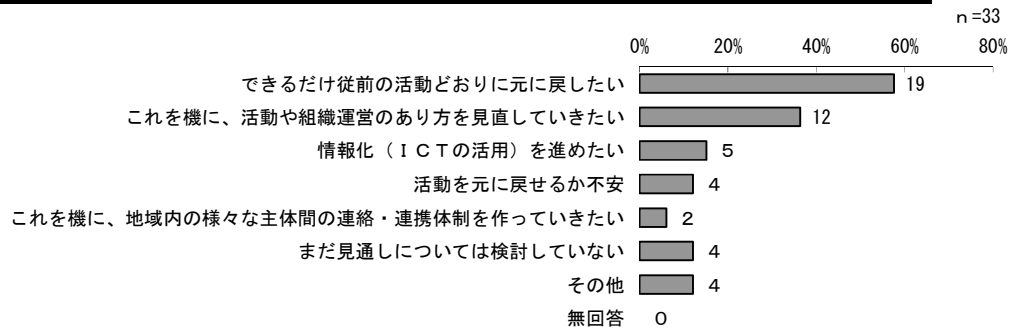
No.	選択肢	n	%(参考)
1	活動全体が縮小・停滞した	22	66.7
2	一部の活動が縮小した	5	15.2
3	活動への参加者が減った	10	30.3
4	会員間のつながりが弱くなった	10	30.3
5	役員間の意思疎通が弱くなった	2	6.1
6	活動の方法に工夫が生まれた	12	36.4
7	情報化（ICTの活用）が進んだ	5	15.2
8	特に変化したことはない	3	9.1
9	わからない	0	0.0
10	その他	4	12.1
	無回答	0	0.0
	全体	33	100.0



○「活動全体が縮小・停滞した」(33団体中22団体)という回答が最も多く、「活動の方法に工夫が生まれた」(同12団体)、「活動への参加者が減った」と「会員間のつながりが弱くなった」(ともに10団体)が続いています。

②流行・まん延等が収まった後の活動見通しはいかがですか。(あてはまるすべてを選択)

No.	選択肢	n	%(参考)
1	できるだけ従前の活動どおりに元に戻したい	19	57.6
2	これを機に、活動や組織運営のあり方を見直していきたい	12	36.4
3	これを機に、地域内の様々な主体間の連絡・連携体制を作っていきたい	2	6.1
4	活動を元に戻せるか不安	4	12.1
5	情報化（ICTの活用）を進めたい	5	15.2
6	まだ見通しについては検討していない	4	12.1
7	その他	4	12.1
	無回答	0	0.0
	全体	33	100.0



○「できるだけ従前の活動どおりに元に戻したい」(33団体中19団体)という回答が最も多く、次いで「これを機に、活動や組織運営のあり方を見直していきたい」(同12団体)が多くなっています。

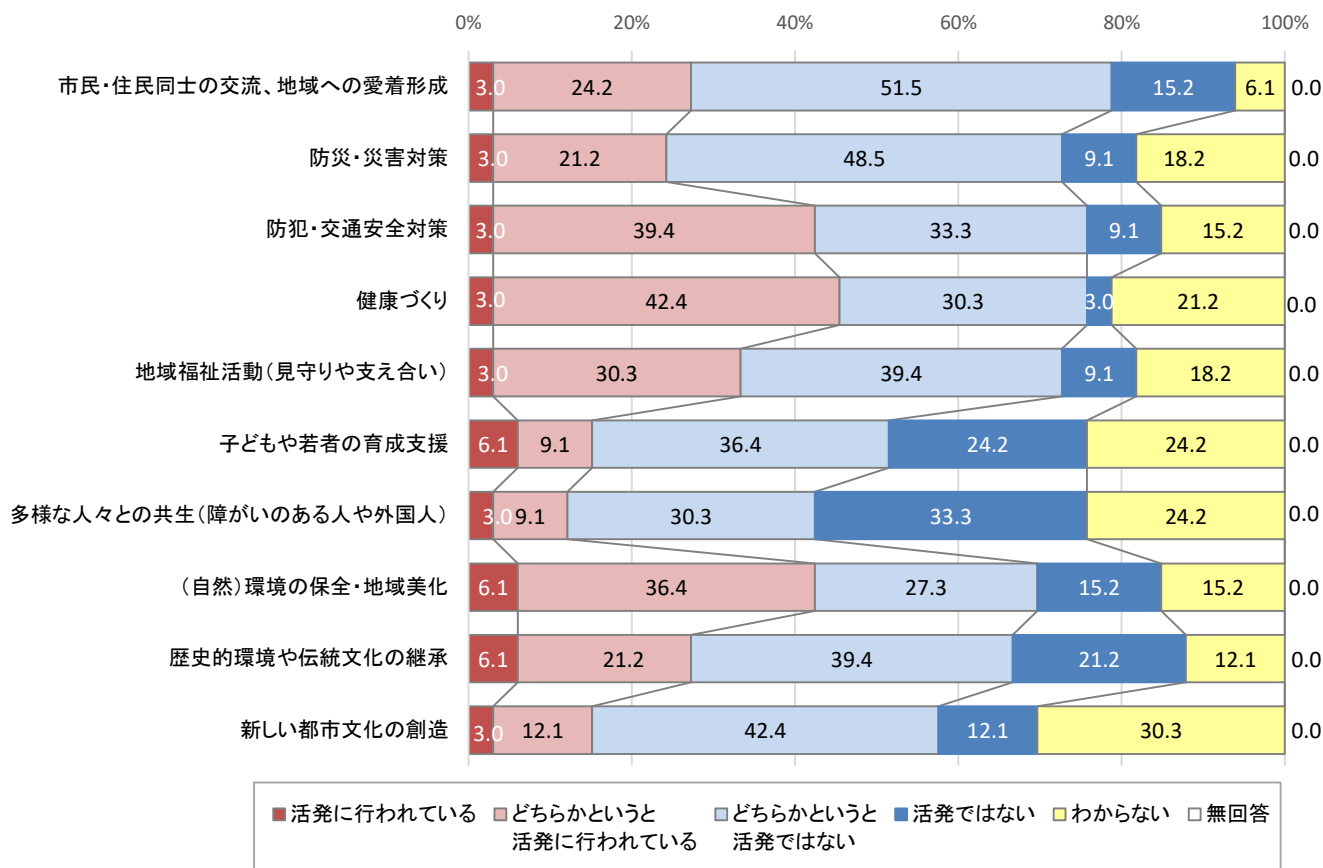
【印西市における市民参加によるまちづくり】

問4 印西市における、市民参加によるまちづくりについてお考えをおたずねします。

①市民参加の状況について、ア～コの分野ごとに評価してください。（1つずつを選択）

単位・・・上段：件、下段：%

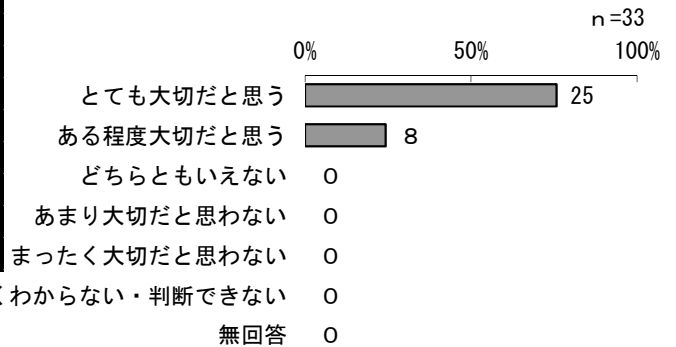
	計	活発に行われている	どちらかという 活発に行われている	どちらかという 活発ではない	活発ではない	わからない	無回答
ア 市民・住民同士の交流、 地域への愛着形成	33 100.0	1 3.0	8 24.2	17 51.5	5 15.2	2 6.1	0 0.0
イ 防災・災害対策	33 100.0	1 3.0	7 21.2	16 48.5	3 9.1	6 18.2	0 0.0
ウ 防犯・交通安全対策	33 100.0	1 3.0	13 39.4	11 33.3	3 9.1	5 15.2	0 0.0
エ 健康づくり	33 100.0	1 3.0	14 42.4	10 30.3	1 3.0	7 21.2	0 0.0
オ 地域福祉活動 (見守りや支え合い)	33 100.0	1 3.0	10 30.3	13 39.4	3 9.1	6 18.2	0 0.0
カ 子どもや若者の育成支援	33 100.0	2 6.1	3 9.1	12 36.4	8 24.2	8 24.2	0 0.0
キ 多様な人々との共生 (障がいのある人や外国人)	33 100.0	1 3.0	3 9.1	10 30.3	11 33.3	8 24.2	0 0.0
ク (自然) 環境の保全・地域美化	33 100.0	2 6.1	12 36.4	9 27.3	5 15.2	5 15.2	0 0.0
ケ 歴史的環境や伝統文化の継承	33 100.0	2 6.1	7 21.2	13 39.4	7 21.2	4 12.1	0 0.0
コ 新しい都市文化の創造	33 100.0	1 3.0	4 12.1	14 42.4	4 12.1	10 30.3	0 0.0



○「健康づくり」に次いで「防犯・交通安全対策」「(自然)環境の保全・地域美化」で“活発である(「活発に行われている」、「どちらかというと活発に行われている」)”とする評価が多く、“活発でない(「活発ではない」、「どちらかというと活発ではない」)”という評価以上になっています。全体的には“活発でない”が多くみられ、特に「市民・住民同士の交流、地域への愛着形成」及び「多様な人々との共生」、「子どもや若者の育成支援」は“活発でない”との評価が“活発である”とする評価を大きく上回っています。

②市民にとって、地域での住民同士のつながりは大切だと思いますか。(1つ選択)

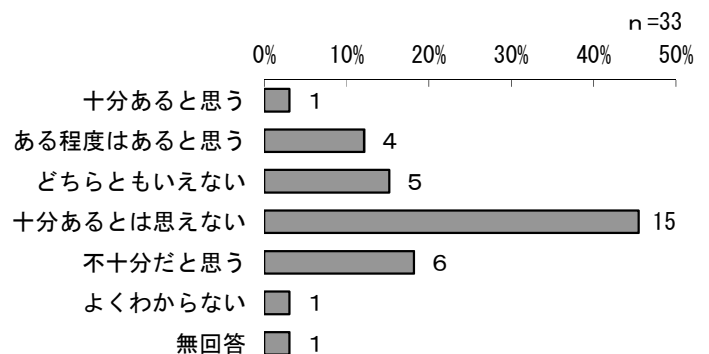
No.	選択肢	n	%(参考)
1	とても大切だと思う	25	75.8
2	ある程度大切だと思う	8	24.2
3	どちらともいえない	0	0.0
4	あまり大切だと思わない	0	0.0
5	まったく大切だと思わない	0	0.0
6	よくわからない・判断できない	0	0.0
	無回答	0	0.0
	全体	33	100.0



○33団体中25団体が「とても大切だと思う」と回答していて多く、残る8団体が「ある程度大切だと思う」と回答しています。否定的な回答は皆無となっています。

③市内で、住民同士のつながりは十分あると思いますか。(1つ選択)

No.	選択肢	n	%(参考)
1	十分あると思う	1	3.0
2	ある程度はあると思う	4	12.1
3	どちらともいえない	5	15.2
4	十分あるとは思えない	15	45.5
5	不十分だと思う	6	18.2
6	よくわからない	1	3.0
	無回答	1	3.0
	全体	33	100.0

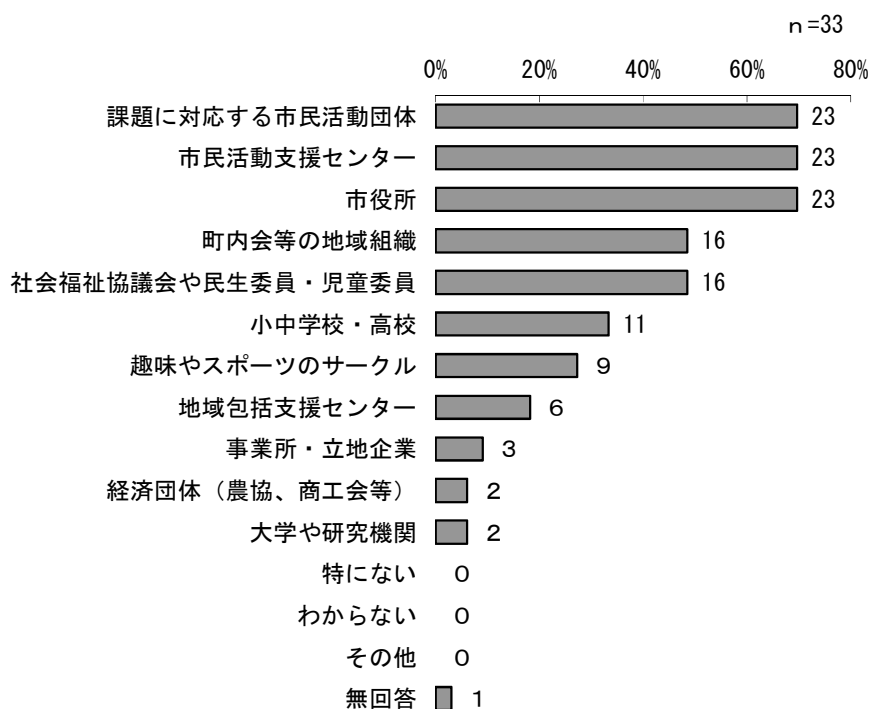


○「十分あるとは思えない」(33団体中15団体)という回答が最も多く、「不十分だと思う」(同6団体)、「どちらともいえない」(5団体)、「ある程度はあると思う」(4団体)が続いています。

「不十分だと思う」と「十分あるとは思えない」を合わせた“どちらかといえば不十分”が6割を超えて多くなっています。

④市内の各地域が、住民参加により地域課題を解決し、住みよいまちづくりを進める上で、特に重要な位置づけにあると思う団体や機関は何ですか。（5つまで選択）

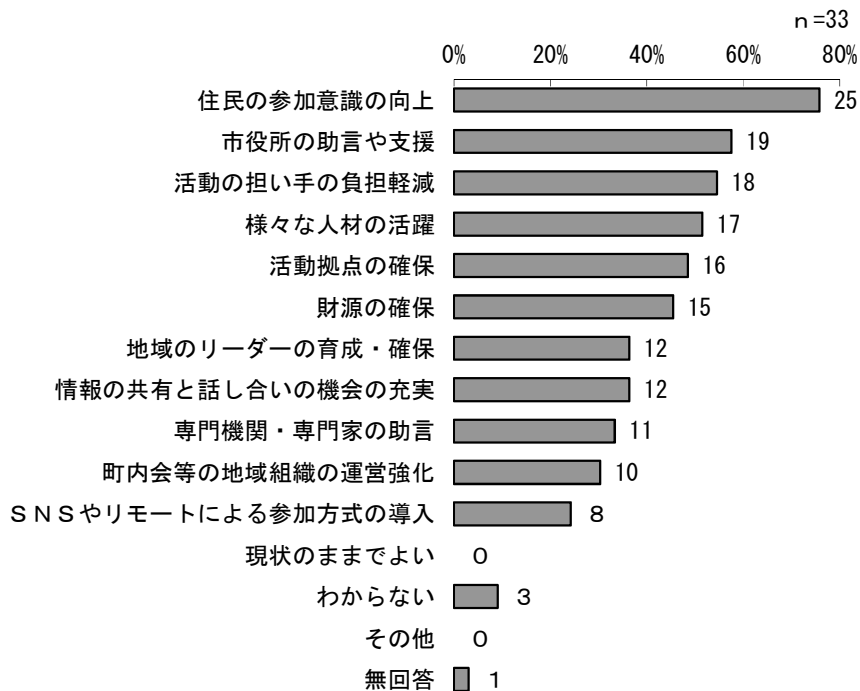
No.	選択肢	n	% (参考)
1	課題に対応する市民活動団体	23	69.7
2	町内会等の地域組織	16	48.5
3	趣味やスポーツのサークル	9	27.3
4	経済団体（農協、商工会等）	2	6.1
5	小中学校・高校	11	33.3
6	大学や研究機関	2	6.1
7	事業所・立地企業	3	9.1
8	地域包括支援センター	6	18.2
9	社会福祉協議会や民生委員・児童委員	16	48.5
10	市民活動支援センター	23	69.7
11	市役所	23	69.7
12	特にない	0	0.0
13	わからない	0	0.0
14	その他	0	0.0
	無回答	1	3.0
	全体	33	100.0



○「課題に対応する市民活動団体」と「市民活動支援センター」と「市役所」（いずれも33団体中23団体）という回答がほぼ7割を占めて多くなっています。

⑤市内の各地域が、住民参加によるまちづくりを進めていくためには、特にどのようなことが必要と思いますか。(あてはまるすべてを選択)

No.	選択肢	n	%(参考)
1	住民の参加意識の向上	25	75.8
2	町内会等の地域組織の運営強化	10	30.3
3	地域のリーダーの育成・確保	12	36.4
4	様々な人材の活躍	17	51.5
5	活動の担い手の負担軽減	18	54.5
6	財源の確保	15	45.5
7	活動拠点の確保	16	48.5
8	情報の共有と話し合いの機会の充実	12	36.4
9	SNSやリモートによる参加方式の導入	8	24.2
10	専門機関・専門家の助言	11	33.3
11	市役所の助言や支援	19	57.6
12	現状のままでよい	0	0.0
13	わからない	3	9.1
14	その他	0	0.0
	無回答	1	3.0
	全体	33	100.0



○「住民の参加意識の向上」(33団体中25団体)という回答が最も多く、「市役所の助言や支援」(同19団体)、「活動の担い手の負担軽減」(18団体)、「様々な人材の活躍」(17団体)等が続いています。

【自由記入式質問】

問5 印西市における地域コミュニティの活性化に向けて、日ごろお感じのことや、今後に向けてのご提案などをお聞かせください。

○33団体中14団体から回答を得ました。以下に、地域コミュニティ及び地域活動に関わる記述を抜粋・要約して掲載します。

①地域の運営について

- ・高齢化による自治会、町内会の担い手、加入者の減少。新住民の自治会町内会への積極的加入のための方策が必要。神社寺院との連携。夏祭り等の行事の復活。
- ・町内会・自治会等の役員は高齢で後継者のいないところが多い。市の行政改革推進会議で合併前の行政区制度の採用等地域ごとの運用について検討し、その結果の公表もほしい。
- ・市民活動に対する住民の無関心、行政の支援体制不足。

②市役所への期待について

＜市の支援を＞

- ・地域コミュニティ活性化に向けて行政機関の指針とサポート体制の構築を願う。
- ・自治会等への手厚い経済援助を。
- ・活動拠点、会議・交流できる場の整備、手続等の簡易化等。
- ・活動拠点や活動資材の保管倉庫などの整備。
- ・人、予算、啓発の充実が大切。
- ・市の補助金を受けている団体の会計報告を精査し、適切でない場合は調査・審査を行い指導勧告又は補助金の返還を求める姿勢を示してほしい。また、補助金給付団体の役員には、市の議員が就任しないよう予め周知してほしい。地方自治法の「議員の兼業の禁止」及び補助金等評価委員からの指摘事項でもある。
- ・市職員に地域コミュニティ活動への参加を義務付け、市民目線を行政に反映させることが、行政の参加向上、活性化に結びつくと思う。

＜活動のコーディネート＞

- ・組織間のつながりを増やし、全体で子どもたちの見守りや（地域の）つながりを濃く強くできたら、心強い。個々の組織がバラバラと感じている。交流や研修会の機会が増えるとよい。
- ・個（団体）の力は限られるが、関係する他（団体）と結んでいただけると心強く、励みになる。
- ・市役所は縦割り体制。横のネットワークづくりのため市民活動支援センターの機能向上が必要。

＜活動のPR＞

- ・各市民活動団体の活動内容や意義・必要性について、印西市はラーバンネット等を利用してもっと宣伝・PRをしてほしい。
- ・各種団体のPRを市役所が積極的に推進する。